

3度目の冬！ 災害ボランティアセンター

街頭設置事業

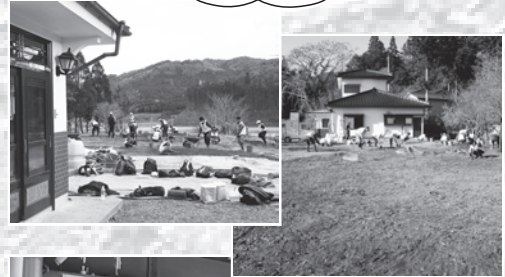
住民みなさんの明日を照らす「街灯」支援事業。多くの企業・個人よりご支援を頂き、町内の希望箇所へ設置しています。これで夜間も安心ですね。いずれ高台へと移転の際には移動も可能となっています。



ご支援を頂いた企業様の名前が記載されています。

ご紹介した企業様以外にも、多くの支援を賜っておりまますことをご報告致します。

片付けボラ



被災した民家の内外を掃除しています

炊出しボラ

地元を離れ、南三陸町役場に勤務している全国からの長期派遣の皆さんへ、**感謝**と**栄養**を贈りました



派遣職員の皆様を対象に、炊出しを行ったのは岡山県で飲食店を営む山本さん！



山本さんは町内の仮設住宅にも炊出しを行ってくれました。

ボランティアのニーズに変化？

全国から12万人以上のボランティアを受け入れた災害ボランティアセンター。そのネットワークとつながりは現在も進行中です。震災当初はガレキの撤去作業が主な活動でしたが、現在は農業支援、漁業支援のほか「心のケア」に関するボランティアが求められています。長引く仮設生活、住み慣れた町を離れ、みなし仮設で暮らしている方々への対応が今後の課題となりそうです。

また、自身の特技を生かした歌や踊りのコンサートや季節のイベントを行ったりと、住民に楽しみを提供するボランティアの方も多く活躍されています。



宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田56-7
(バイサイドアリーナ駐車場内)
電話番号：0226-46-4088 (9時～15時30分)